

科目名 クラス名	社会保障論Ⅰ		
科目名 (英語)	Social Security Ⅰ		
担当教員名	片居木 英人		
ナンバリング	NDa2008		
学科	2020～2026年度 大学 人間生活学部 人間福祉学科 社福・保育コース 3年／2020～2026年度 大学 人間生活学部 人間福祉学科 社福・介護コース 3年／2024年度 大学 人間生活学部 人間福祉学科 こどもコース 3年／2024年度 大学 人間生活学部 人間福祉学科 介護コース 3年／2020～2026年度 大学 人間生活学部 健康栄養学科 3年／2020～2026年度 大学 人間生活学部 食物栄養学科 3年／2020～2026年度 大学 人間生活学部 食品開発学科 3年／2020～2026年度 大学 教育人文学部 幼児教育学科 3年／2020～2026年度 大学 教育人文学部 心理学科 3年／2020～2026年度 大学 教育人文学部 文芸文化学科 日本語・日文コース 3年／2020～2026年度 大学 教育人文学部 文芸文化学科 多文化・共生コース 3年／2020～2026年度 大学 教育人文学部 文芸文化学科 芸術・文化コース 3年／2020～2026年度 大学 社情デザイン学部 社情デザイン学科 3年		
学年	3年	開講期	2026年度前期
授業形態	講義	単位数	2単位
遠隔授業対象科目			
振替元科目			

実務経験の有無	無
実務経験および科目との関連性	無

ねらい		
①科目の性格	本科目は、社会保障の全般的な基本について学ぶものであり、卒業必修科目である。また社会福祉士養成課程の指定科目でもあり、「社会福祉概論Ⅰ」「社会福祉概論Ⅱ」「社会保障論Ⅱ」等とも関連がある。	
②科目の概要	本科目は、現代社会における社会保障制度の現状（少子高齢化と社会保障制度の関連を含む）、社会保障の概念や対象その理念、諸外国における社会保障制度の概要とその国際比較、社会保障の財源と社会保障給付費、について学ぶ。	
③授業の方法（ALを含む）	本科目は講義を中心とし、テキスト・板書という方法で展開する。	リアクションペーパー／レポート／ディスカッション
④到達目標	到達目標1 社会保障の概念や対象及びその理念について、社会保障制度の展開過程も含めて述べることができる。 到達目標2 現代社会における社会保障制度の役割と意義、取り組むべき課題について説明することができる。 到達目標3 諸外国における社会保障制度の概要について述べるすることができる。 到達目標4 社会保障の財政について説明することができる。	
⑤ディプロマ・ポリシーとの関係（右の資質・能力を育成することを目的とする）	ND①-1;社会福祉に関する法や制度の基本的理解、ND③-1;問題解決のための専門性と倫理	

教科書				
書名	著者	出版社	ISBN	備考
社会保障 第2版	阿部裕二・熊沢由美編	弘文堂		予価2500円＋税
推薦書・参考文献				
授業時、適宜、紹介する。				

履修上の助言、教員からのメッセージ	
-------------------	--

第1回		
事前学習	初回授業の、テキストの「はじめに」を通読し、要点を調べノートにまとめておく。	180分
授業内容	少子高齢化、人口減少社会の現状【ディスカッション】【リアクションペーパー】	
事後学習・次回事前学習	授業終了時に告げられる次回予定のテキスト箇所を通読し、要点を調べノートにまとめておく。	180分
第2回		

授業内容	低成長社会と社会保障の持続可能性【ディスカッション】【リアクションペーパー】	
事後学習・次回事前学習	授業終了時に告げられる次回予定のテキスト箇所を通読し、要点を調べノートにまとめておく。	180分
第3回		
授業内容	労働環境の変化（正規雇用・非正規雇用・労働関係法規・働き方改革等）【ディスカッション】【リアクションペーパー】	
事後学習・次回事前学習	授業終了時に告げられる次回予定のテキスト箇所を通読し、要点を調べノートにまとめておく。	180分
第4回		
授業内容	社会保障の概念と範囲【ディスカッション】【リアクションペーパー】	
事後学習・次回事前学習	授業終了時に告げられる次回予定のテキスト箇所を通読し、要点を調べノートにまとめておく。	180分
第5回		
授業内容	社会保障の役割と意義（イギリス・ドイツ）【ディスカッション】【リアクションペーパー】	
事後学習・次回事前学習	授業終了時に告げられる次回予定のテキスト箇所を通読し、要点を調べノートにまとめておく。	180分
第6回		
授業内容	社会保障の理念【ディスカッション】【リアクションペーパー】	
事後学習・次回事前学習	授業終了時に告げられる次回予定のテキスト箇所を通読し、要点を調べノートにまとめておく。	180分
第7回		
授業内容	社会保障の体系と対象【ディスカッション】【リアクションペーパー】	
事後学習・次回事前学習	授業終了時に告げられる次回予定のテキスト箇所を通読し、要点を調べノートにまとめておく。	180分
第8回		
授業内容	社会保障制度の歴史的展開【ディスカッション】【リアクションペーパー】	
事後学習・次回事前学習	授業終了時に告げられる次回予定のテキスト箇所を通読し、要点を調べノートにまとめておく。	180分
第9回		
授業内容	先進諸国の社会保障制度の歴史と概要【ディスカッション】【リアクションペーパー】	
事後学習・次回事前学習	授業終了時に告げられる次回予定のテキスト箇所を通読し、要点を調べノートにまとめておく。	180分
第10回		
授業内容	国際比較における高齢化と社会保障の給付規模社会保障給付費の内訳【ディスカッション】【リアクションペーパー】	
事後学習・次回事前学習	授業終了時に告げられる次回予定のテキスト箇所を通読し、要点を調べノートにまとめておく。	180分
第11回		
授業内容	国際比較における社会保障給付費の内訳【ディスカッション】【リアクションペーパー】	
事後学習・次回事前学習	授業終了時に告げられる次回予定のテキスト箇所を通読し、要点を調べノートにまとめておく。	180分
第12回		
授業内容	社会保障の財源（一般会計・地方経費・社会保険料・利用者負担・財政調整等）【ディスカッション】【リアクションペーパー】	
事後学習・次回事前学習	授業終了時に告げられる次回予定のテキスト箇所を通読し、要点を調べノートにまとめておく。	180分
第13回		
授業内容	社会保障の財源（租税方式と社旗保険料方式の特徴と課題）【ディスカッション】【リアクションペーパー】	
事後学習・次回事前学習	授業終了時に告げられる次回予定のテキスト箇所を通読し、要点を調べノートにまとめておく。	180分

第14回		
授業内容	社会保障給付費（内訳・動向・国民負担率）【ディスカッション】【リアクションペーパー】	
事後学習・次回事前学習	授業終了時に告げられる次回予定のテキスト箇所を通読し、要点を調べノートにまとめておく。	180分
第15回		
授業内容	社会保障と経済【ディスカッション】【レポート】	
事後学習	授業終了時に告げられる今回のテキスト箇所を通読し、要点を調べノートにまとめておく。	180分

フィードバック	授業中のディスカッションおよびリアクションペーパーに関して、受講生の全体的傾向についてコメントする。	
評価方法および評価の基準	各授業回又はテーマごとに提示する課題への取組み(40%)、レポート(60%)とし、60点以上を合格とする。 到達目標1 課題への取組み(10%)、レポート(15%) 到達目標2 課題への取組み(10%)、レポート(15%) 到達目標3 課題への取組み(10%)、レポート(15%) 到達目標4 課題への取組み(10%)、レポート(15%)	

ループリック		評価基準				評価方法
DP	評価項目	【S】到達目標以上に達している	【A】到達目標を十分に達成できている	【B】到達目標を達成できている（到達目標）	【C】到達目標を最低限度は達成できている	
社会福祉に関する法や制度及び支援に関する基本的理解	社会保障の理念・機能、歴史的展開の理解度 25%	社会保障の概念や対象及びその理念について、社会保障制度の展開過程も含めて、自己の考察を交えて、十分に述べることができる。	社会保障の概念や対象及びその理念について、社会保障制度の展開過程も含めて十分に述べるができる。	社会保障の概念や対象及びその理念について、社会保障制度の展開過程も含めて述べるができる。	社会保障の概念や対象及びその理念について、社会保障制度の展開過程も含めて、最低限、述べるができる。	課題への取組み10% レポート15%
諸問題の構造的把握と理解、問題解決に向けた方法の提示	社会保障における取り組むべき課題への理解度 25%	現代社会における社会保障制度の役割と意義、取り組むべき課題について、自己の考察を交えて、十分に説明することができる。	現代社会における社会保障制度の役割と意義、取り組むべき課題について十分に説明することができる。	現代社会における社会保障制度の役割と意義、取り組むべき課題について説明することができる。	現代社会における社会保障制度の役割と意義、取り組むべき課題について、最低限、説明することができる。	課題への取組み10% レポート15%
科学的根拠をもって援助・支援にあたる論理的思考力	社会保障の財政についての理解度 25%	社会保障における取り組むべき課題について、社会保障の財政のあり方と関連づけて、自己の考察を交えて、十分に説明することができる。	社会保障における取り組むべき課題について、社会保障の財政のあり方と関連づけて、十分に説明することができる。	社会保障における取り組むべき課題について、社会保障の財政のあり方と関連づけて、説明することができる。	社会保障における取り組むべき課題について、社会保障の財政のあり方と関連づけて、最低限、説明することができる。	課題への取組み10% レポート15%
問題解決のための専門性と倫理の理解	諸外国を含む社会保障制度に盛り込まれている専門性や倫理への理解度 25%	人権の視点から、諸外国における社会保障制度に盛り込まれている専門性や倫理について、自己の考察を交えて、十分に述べることができる。	人権の視点から、諸外国における社会保障制度に盛り込まれている専門性や倫理について、十分に述べることができる。	人権の視点から、諸外国における社会保障制度に盛り込まれている専門性や倫理について述べることができる。	人権の視点から、諸外国における社会保障制度に盛り込まれている専門性や倫理について、最低限、述べることができる。	課題への取組み10% レポート15%